

訪問面接調査とインターネット調査の比較について

1 目的

異なる調査方法の回答結果を比較することにより、今後の世論調査の実施の参考にする。

2 調査方法等

	訪問面接調査	インターネット調査 A	インターネット調査 B
調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人	A 調査会社のモニター (20 歳以上)	B 調査会社のモニター (20 歳以上)
調査時期	18 年 2 月 16 日 ~ 2 月 26 日	18 年 2 月 16 日 ~ 2 月 20 日	18 年 2 月 16 日 ~ 2 月 18 日
調査方法	調査員による個別面接聴取	We b 画面上で回答を入力	We b 画面上で回答を入力
回収結果	有効回収数 (率) 1,657 人 (55.2%)	有効回収数 1,830 人	有効回収数 1,551 人

3 調査項目 及び 結果の概要

以下のとおり、インターネット調査は訪問面接調査と大きく異なる結果となった (選択肢によっては 20 ポイント以上の差)。

調査項目	選択肢	訪問面接	インターネット (%)			
			インターネット A	差	インターネット B	差
Q1 現在の生活に対する満足度	満足	78.2	46.3	-31.9	47.4	-30.8
	不満	20.4	49.7	+29.3	48.7	+28.3
Q2 現在の生活の充実感	充実感を感じている	78.7	50.9	-27.8	53.0	-25.7
	充実感を感じていない	18.6	45.3	+26.7	42.7	+24.1
SQ 充実感を感じるとき (MA)	家族団らん	54.5	40.9	-13.6	44.2	-10.2
	友人や知人と会合、雑談	44.0	31.0	-13.1	34.2	-9.8
	ゆったりと休養	38.8	41.2	+2.3	44.8	+6.0
	仕事に打ち込んでいるとき	38.5	33.3	-5.2	32.8	-5.7
	趣味・スポーツ	37.1	56.4	+19.4	58.4	+21.3
	勉強・教養	14.2	23.4	+9.2	23.5	+9.4
	社会奉仕・社会活動	11.5	8.7	-2.8	7.9	-3.6
Q3 収入と自由時間についての考え方	自由時間を増やしたい	29.6	18.0	-11.5	22.2	-7.4
	収入を増やしたい	50.8	60.8	+10.0	58.2	+7.4
Q4 政府に対する要望 (MA)	医療・年金等	69.7	63.3	-6.4	58.5	-11.2
	高齢社会対策	57.8	47.9	-9.9	46.0	-11.8
	景気対策	54.5	44.3	-10.2	48.0	-6.5
	犯罪対策	44.4	45.4	+1.0	45.8	+1.4
	雇用・労働問題	43.9	40.8	-3.1	39.3	-4.5
	少子化対策	41.8	46.7	+5.0	43.9	+2.1

注) 網掛けは統計的に有意差があるもの (有意水準 5%)。

4 結論

インターネット調査は、現時点においては、内閣府が実施する訪問面接調査による世論調査を直ちに代替しうるものではない可能性が高い。

ただし、インターネット調査は、例えば「賛成が全国民の何割」という結果を得るための世論調査の代替はできないとしても、その特性を踏まえた上で活用すれば、継続調査に基づく変化の把握や市場調査などの用途に十分利用可能であることを否定するものではない。

いずれにせよ、インターネット調査は、安価かつ手軽に実施可能であることなどから、偏りを取り除く技術の向上などの動向を、世論調査担当としても今後とも注視していきたい。